

製品名: DAPK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85488**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 43 kDa

抗原情報

遺伝子名	DAPK2
別名	DAPK2; Death-associated protein kinase 2; DAP kinase 2; DAP-kinase-related protein 1; DRP-1
遺伝子 ID	23604.0
SwissProt ID	Q9UIK4
免疫原	ヒト DAPK2 の合成ペプチド

背景

カルシウム/カルモジュリン依存性セリン/スレオニンキナーゼは、細胞生存、アポトーシス、およびオートファジーを誘導する複数の細胞シグナル伝達経路に関与する。細胞環境に応じて、I型アポトーシスおよびII型オートファジー細胞死シグナルの両方を制御する。前者はカスパーゼ依存性であるのに対し、後者はカスパーゼ非依存性であり、オートファジー小胞の蓄積を特徴とする。アノキスのメディエーターとして、また悪性上皮細胞における β -カテニン依存性足場非依存性増殖の抑制因子として作用する。顆粒球成熟に関与する可能性がある (PubMed:17347302)。細胞の伸展と分極を制御することで顆粒球の運動性を制御する (PubMed:24163421)。

研究分野

アポトーシス

画像データ

DAPK2 抗体を使用したラット脾臓溶解物中の DAPK2 のウエスタンブロット分析。

